

# 講演会

# 石川健治

(東京大学法学部教授)

さん



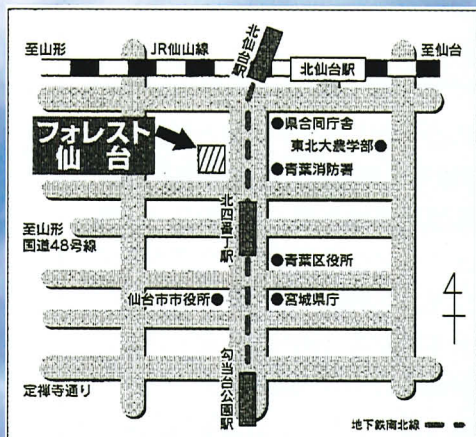
第43回 2017年

2・11 信教・思想・報道の自由を守る宮城県民集会

「憲法ってなに？ 変えたらどうなる？」

「国民主権・基本的人権の尊重・平和主義」という日本国憲法の原則をくつがえすような施策が次々と打ち出され、憲法の改変が現実味を帯びてきています。こうした大事な時期に、改めて「憲法」の本質に照らして、今の憲法改正論議の行く末を共に考えます。

「憲法学の鬼才」とも評される石川健治さんをお迎えします。  
どうぞお集まりください。



2017年2月11日(土)

午後1時半 (開場午後1時)

フォレスト仙台ホール【入場無料】

- ◇会場がいっぱいになった場合は、入場をおことわりすることがあります。
- ◇集会終了後(午後4時頃から)デモ行進を行います。ふるってご参加下さい。
- ◇託児を行います(費用は無料)。当日、受付にお申し出下さい。

主催: 靖国神社国家管理反対宮城県連絡会議

<http://www.ne.jp/asahi/grass/roots/211miyagi/index.htm>



## 講師 ● 石川健治 さん

---

1962年福島県生まれ。東京大学法学部卒業。同法学部助手を経て、1988年東京都立大学法学部助教授、1998年同教授。2003年より東京大学法学部教授。専門は憲法学。「立憲デモクラシーの会」呼びかけ人、同講座講師。

著書に『自由と特権の距離ーカール・シュミット「制度体保障」論・再考』（日本評論社）、共編著に『学問／政治／憲法ー連環と緊張』（岩波書店）など。

## なぜ？ ● 「建国記念の日」に集会を開くわけ

---

「建国記念の日」とされる2月11日は、もともと明治政府が「紀元節」として定めた祝日です。「今から2600年以上前に神武天皇が最初に天皇に即位した日」という神話に基づき、明治政府が天皇を中心とした国家支配の正当性を内外に誇示するために制定したもので、歴史的根拠はありません。1948年7月には、「民主国家として生まれ変わった戦後の日本にふさわしくないもの」として廃止されました。しかし1967年、時の政府が「建国記念の日」として復活させたのです。

日本国憲法が国民主権を宣言しているとおり、私たちの国は国民全員のもので、天皇が主権者で国民はその下で生かしてもらっているというような国ではありません。ですから、天皇中心主義を復活させるような「建国記念の日」は、信教・思想・報道の自由を著しく損ねる恐れがあります。天皇中心の国家体制が犯した過ちについて歴史から学ぶなら、現在の「日本国」誕生の日、人権・平和・民主主義を掲げる日本国憲法施行日である「憲法記念日」こそふさわしいと考えます。

2015年9月、安倍政権は安全保障関連法案を強行採決しました。しかし、この法律については、専門家から「憲法違反」との指摘があり、市民も「戦争ができる国になってしまう」と反対の声を上げています。今こそ、日本国憲法の理念を確認し、あるべき日本の姿について議論を深める時です。

## 主催 ● 靖国神社国家管理反対宮城県連絡会議

---

加盟団体：革新自治体をそだてる学者文化人の会・核兵器廃絶を願うキリスト者の会・カトリック正義と平和仙台協議会・河北新報労働組合・子どもと教科書みやぎネット21・司法反動化反対宮城県連絡会議・自由法曹団宮城県支部・新日本婦人の会宮城県本部・生活協同組合あいコープみやぎ・青年法律家協会宮城支部・仙台キリスト教連合・仙台市職員労働組合・仙台平和を求めるキリスト者の会・仙台靖国法案阻止キリスト者連絡会・全金本山労働組合・創価学会青年部宮城県憲法研究会・テロにも戦争にもNO!の会・東北工業大学教職員組合・東北大学学生キリスト教青年会・東北大学職員組合・東北放送労働組合・東北労働弁護団・日本科学者会議宮城支部・日本キリスト改革派教会・日本キリスト教団東北教区・日本山妙法寺・日本出版労働組合連合会仙台地域協議会・日本バプテスト連盟東北地方連合・日本婦人有権者同盟仙台支部・日本放送労働組合東北支部・日本民主法律家協会東北支部・婦人民主クラブ全国協議会宮城支部・婦人民主クラブ宮城県支部協議会・平和をつくり出す宗教者ネット in みやぎ・宮城学院女子大学教員組合・宮城 革新統一をすすめる懇談会・宮城教育大学教職員組合・宮城県教職員組合・宮城県高等学校教職員組合・宮城県憲法を守る会・宮城県護憲平和センター・宮城県私立学校教職員組合連合・宮城県平和委員会・宮城憲法会議・宮城県歴史教育者協議会・宮城県労働組合総連合・みやぎ脱原発 風の会・宮城婦人問題連絡会・宮城歴史科学研究会・立正佼成会仙台教会（アイウエオ順）